SHARP®

液晶カラーテレビ

形名

LC-24K9

LC-22K9

(エル シー ケイ)

シャープはエコポジティブ。

省エネ 明るさセンサー

- テレビを見るお部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整。無駄に消費する電力を低減します。

省エネ 「無信号電源オフ」機能

- テレビ放送終了後など、番組が映らない状態になると約15分後に電源がオフになるよう設定ができます。

シャープ製品オーナーの会員サイト(無料)より、製品をぜひご登録ください。

人と家電と暮らしをつなぐ、シャープの会員サイト

SHARP i CLUB

今すぐご登録！ http://iclub.sharp.co.jp/

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度「故障かな？と思ったら」(87ページ)「こんなときは」(102ページ) をご確認ください。

メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法や修理のご相談など
【お客様相談センター】

0120-001-251

非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。
※一部、有料サポートがあります。

※詳しくは、取扱説明書107ページをご覧ください

■ **廃棄時のご注意**

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
デジタル情報家電事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia

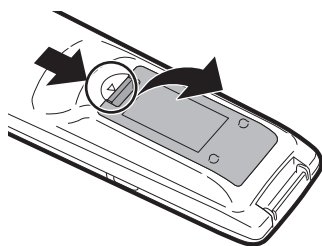
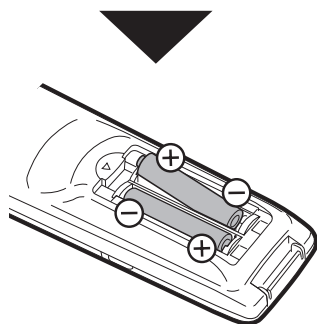
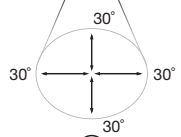
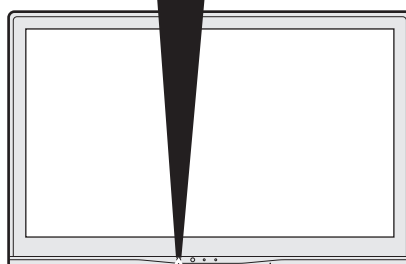
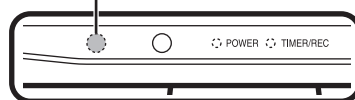
TINS-F686WJN1
13P02-MA-NI

かんたん!! ガイド

付属品を確認してください

- スタンド× 1
- スタンド取付ネジ× 3
- リモコン× 1
- リモコン用単４形乾電池× 2
- 取扱説明書（本書）× 1
  - 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
  - This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
- 保証書× 1
- B-CAS カード× 1

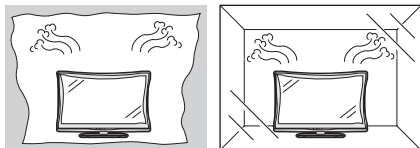
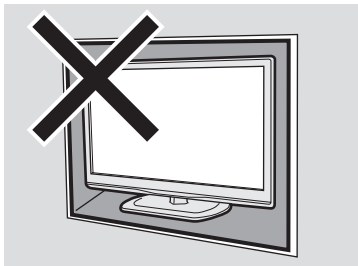
1 リモコンの準備と使いかた

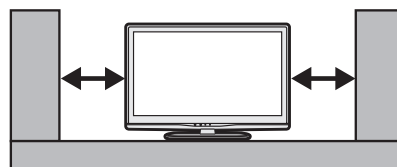
リモコン裏側の電池カバーを開け、付属の単4形乾電池（アルカリ）を入れる

リモコンで操作できる範囲

◇おしらせ◇

リモコン使用上のご注意

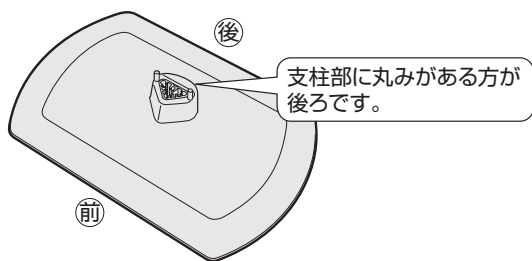
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号（⇒ **30** ページ）を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外のAQUOS では正しく操作できない場合があります。
- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。

2 置く場所を決める

- 本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。
- 別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。（別売品について ⇒ **105** ページ）
- 以下のような設置のしかたをしないでください。
  - 風通しの悪いところに入れない
  - 密閉した箱に入れない
  - じゅうたんや布団の上に置かない
  - 布などをかけない
  - 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない（使用温度 0℃～ 40℃）
  - 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。

設置の際には以下の点をお守りください。

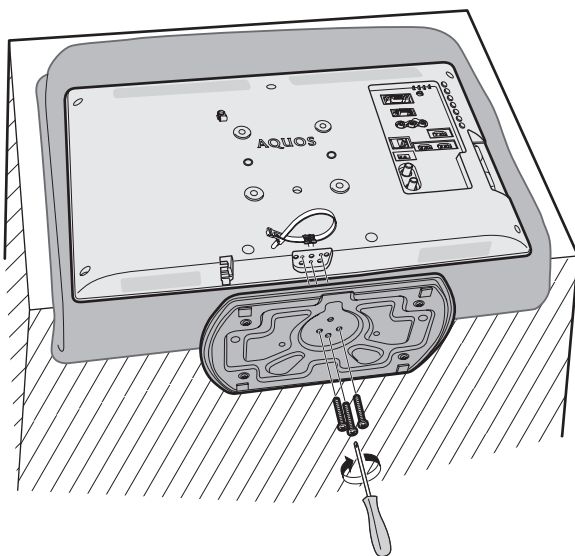
- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
- 左右それぞれ 10cm 以上のスペースを空けてください。

- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、転倒しにくい台をお使いください。
- 転倒防止策を実施してください。（⇒ **「かんたん !! ガイド」10** ページ）
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。

3 スタンドを取り付ける

スタンドの前後について

1 本機のディスプレイ部を寝かせる

- テーブルなどの台の上に毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせます。

2 ディスプレイ部の底面に付属のスタンドを差し込み、付属のスタンド取付ネジ(3本)で、スタンド底面を固定する

- JIS 2番のプラスドライバー（市販品）を使用します。
- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。
- スタンドが落ちないように支えながらネジを締めてください。

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約 1.5N・m（15kgf・cm）に設定してください。

◇**おしらせ**◇

- 本機を設置する際は壁や柱に固定して転倒を防いでください。
  （⇒**「かんたん !! ガイド」10** ページ）
- LC-22K9 を例に説明していますが、LC-24K9 もスタンドの取り付けかたは同じです。

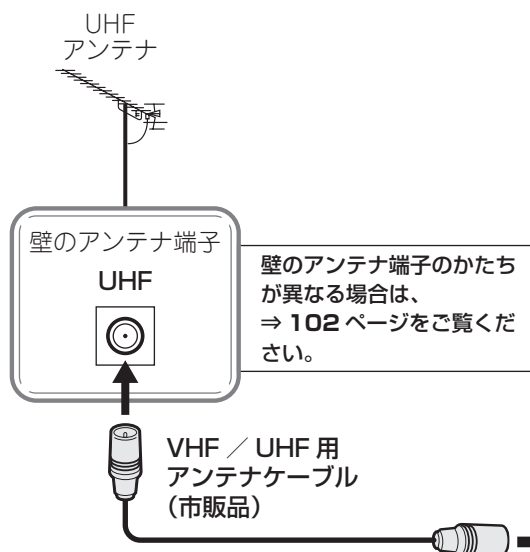
4-1 アンテナをつなぐ（テレビだけをつなぐ場合※）

※レコーダーもつなぐ場合は、7 ～ 8 ページをご覧ください。

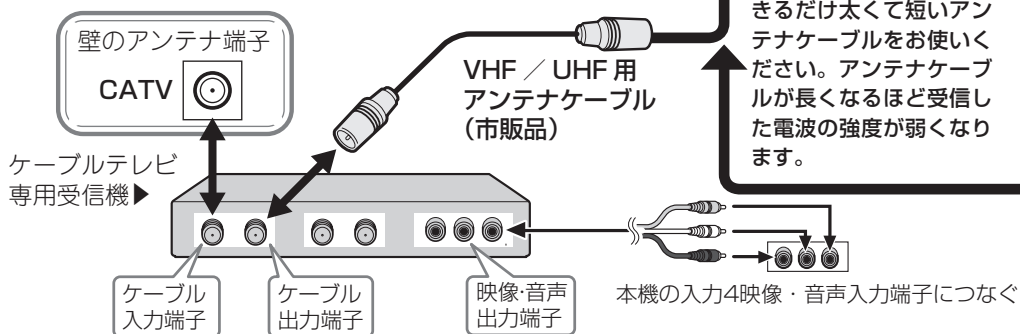
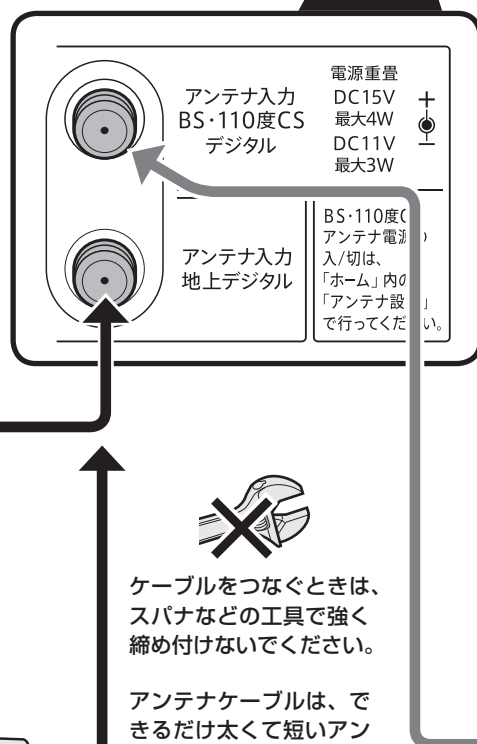
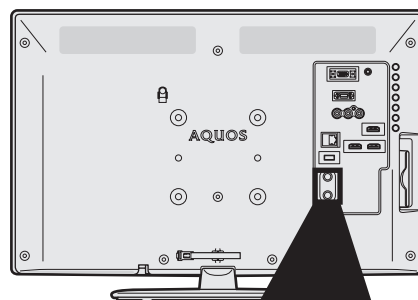
地上デジタル放送用アンテナとつなぐ

・地上デジタル放送を見るための接続です。

地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナが必要です。
（一部取り替えや調整、ブースターの追加などが必要になることがあります。）

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合は、
⇒ **102** ページをご覧ください。

▼本体背面

ケーブルテレビを見るときは

・接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

本機の入力4映像・音声入力端子につなぐ

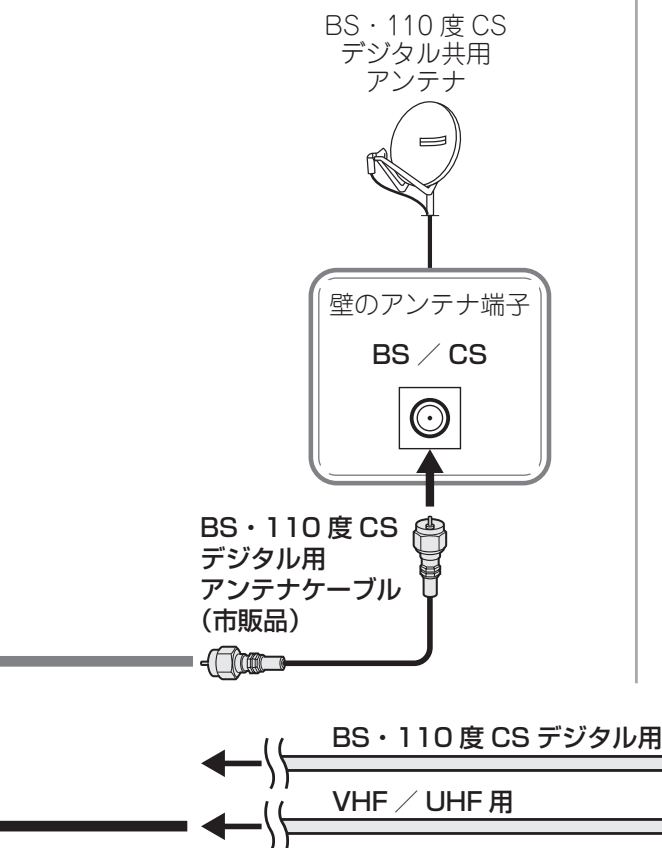
◇**おしらせ**◇

・**CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（⇒ 82 ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。**
・本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C62）帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

BS・110度CS デジタル放送用 アンテナとつなぐ

・ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。

個人でアンテナを設置しているとき

（BS・110度CSデジタルと UHF／VHFが別の端子のとき）

マンションなどの共聴システムで受信しているとき

（BS・110度CSデジタルとUHFが混合されているとき）

BS・110度CS
デジタル共用
アンテナ

UHF
アンテナ

混合器

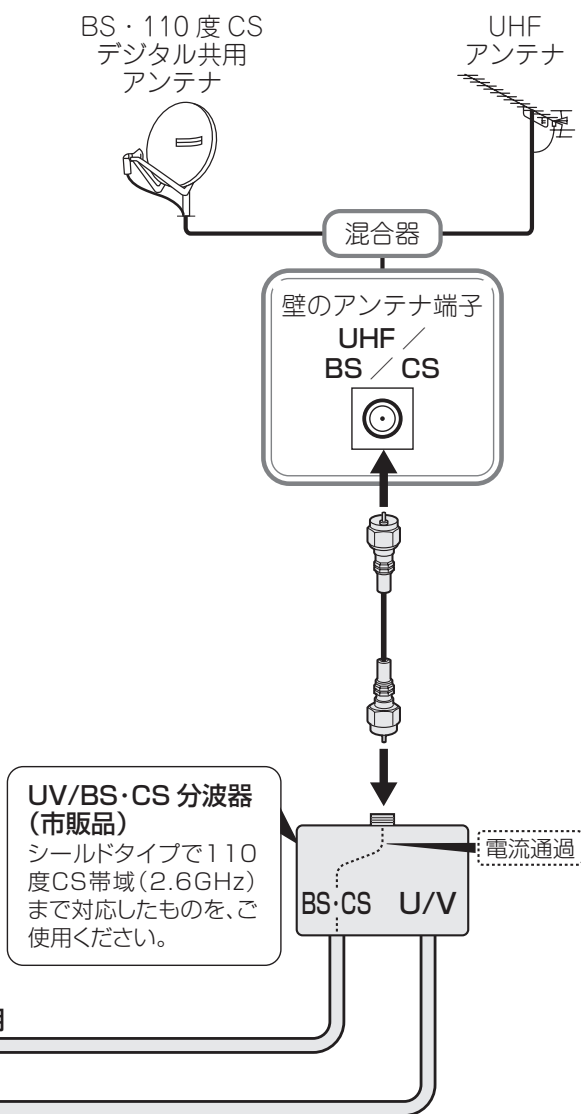
壁のアンテナ端子
UHF／
BS／CS

UV/BS・CS分波器
（市販品）
シールドタイプで110度CS帯域（2.6GHz）まで対応したものを、ご使用ください。

電流通過

BS・CS　U/V

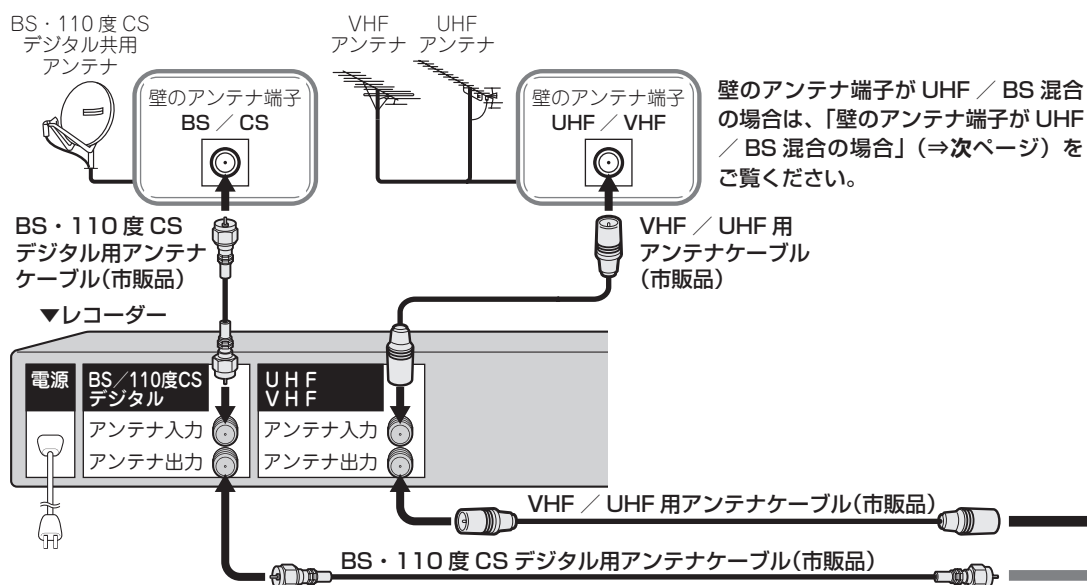
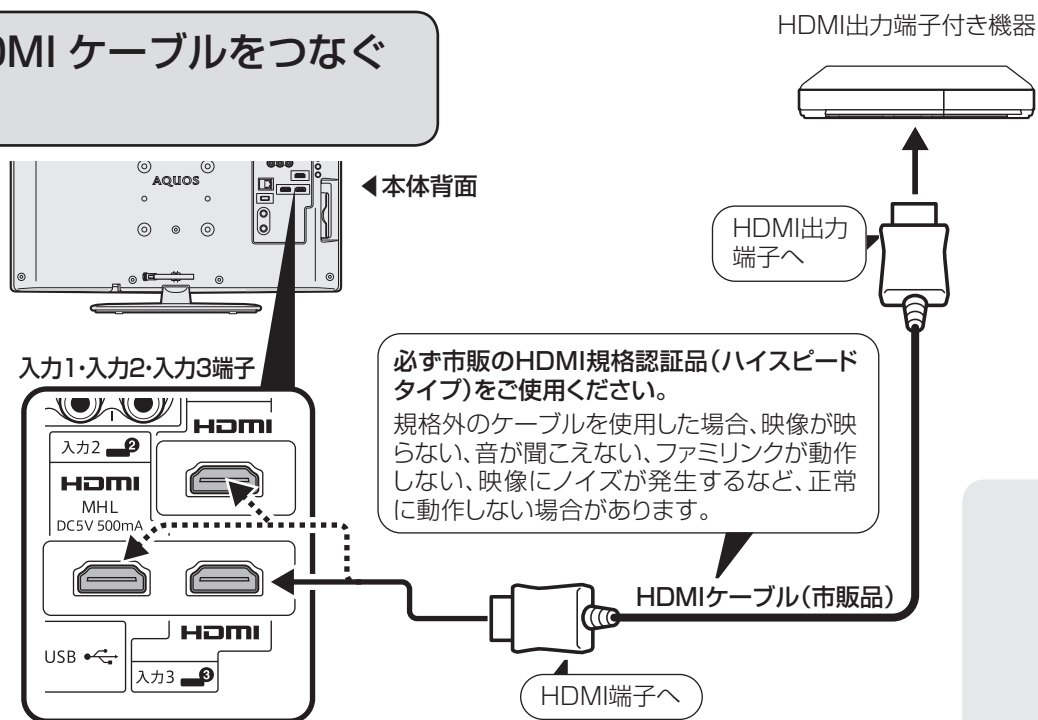
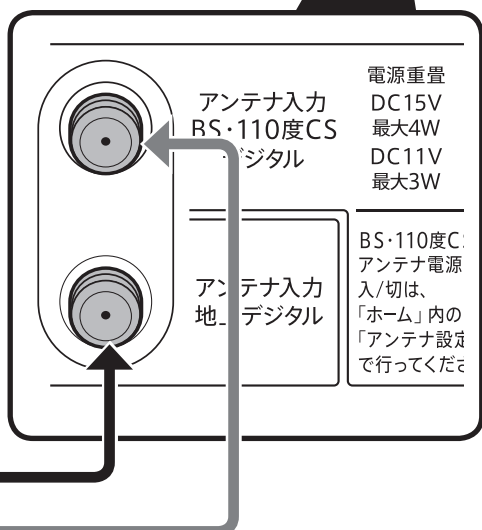
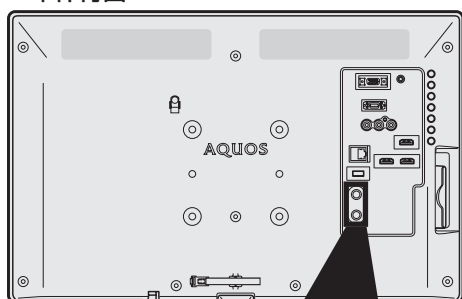
BS・110度CSデジタル用

VHF／UHF用

◇**おしらせ**◇

- **接続をやり直すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**（⇒「**かんたん!! ガイド**」**9ページ**）
  （BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子は、BS・110度CSデジタルアンテナに取り付けられたBS・110度CSコンバーターに+15V／+11Vの電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を取り付けて使用される場合は、専用の電源が必要です。）
- 市販のブースター、アンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110度CS帯域（2.6GHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線はS-5C-FBなど。）詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 従来のBSアナログアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

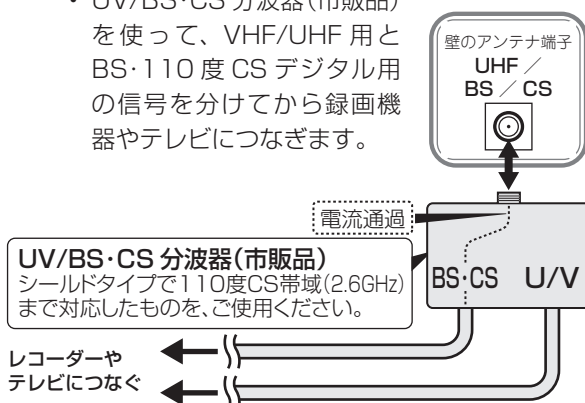
アンテナをつなぐ

デジタルチューナー搭載のレコーダーの場合

地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子のレコーダーにつなぐとき

HDMIケーブルをつなぐ

▼本体背面

壁のアンテナ端子が UHF ／ BS 混合の場合

・UV/BS･CS 分波器（市販品）を使って、VHF/UHF 用と BS･110 度 CS デジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。

UV/BS･CS 分波器(市販品)
シールドタイプで110度CS帯域(2.6GHz)まで対応したものを、ご使用ください。

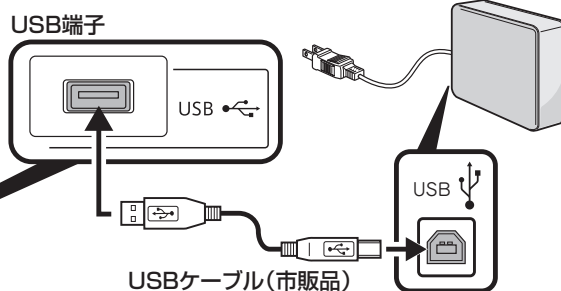
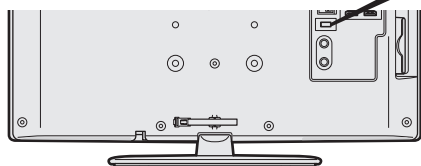
レコーダーや
テレビにつなぐ

USB ハードディスクをつなぐ

・接続したあとは USB ハードディスクの初期化を行ってください。初期化については、⇒ **48** ページをご覧ください。

▼本体背面

USBハードディスク
（ホームページで紹介している市販品）

USB端子

USBケーブル(市販品)

USB ケーブルを抜き差しする場合は、必ず電源が切れた状態で行ってください。
動作確認済みの USB ハードディスクについては、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートページでご確認ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/

◇**おしらせ**◇

・ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。
・アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。
アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

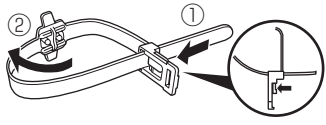
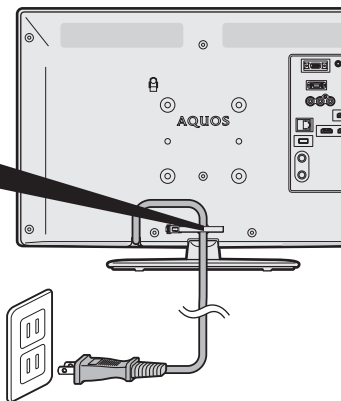
5 電源コードをつなぐ

⚠注意 接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

◆ **重　要** ◆

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。
- イラストは LC-22K9 で記載しています。

背面の電源コードの電源プラグを、ご家庭のコンセントに接続する

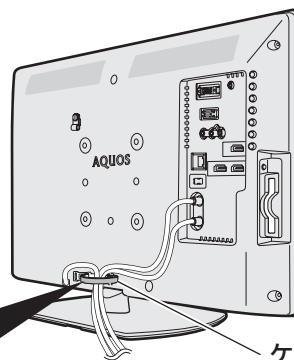
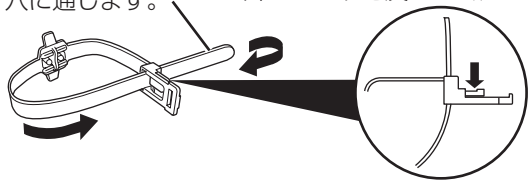
①を押しながら②を矢印の方向に引きます。
束ねたケーブルを取り外したら、ケーブルバンドの輪にケーブルを通してください。

・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

◆ **重　要** ◆

- 電源プラグを抜くときは、「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」にしてから抜いてください。

◇ **おしらせ** ◇

- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）

つないだケーブルやコードを固定する

- 本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ずケーブルバンドで固定してください。

録画予約設定時や録画中は本体の電源ボタンで電源オフにしないでください

- 「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

本体の電源をオフにすると…
- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

消費電力について

- 本体の電源ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

6 転倒防止をする

⚠注意

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

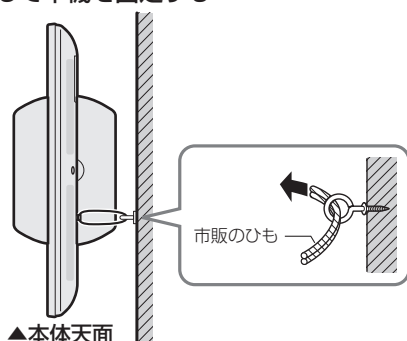
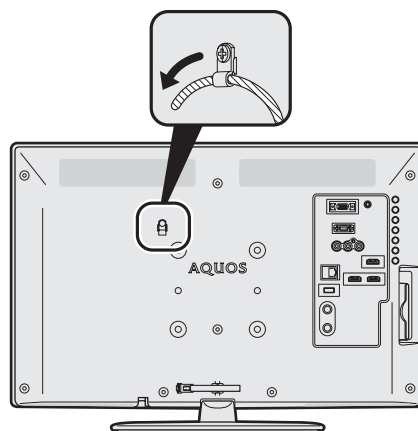
- 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

壁や柱に固定する

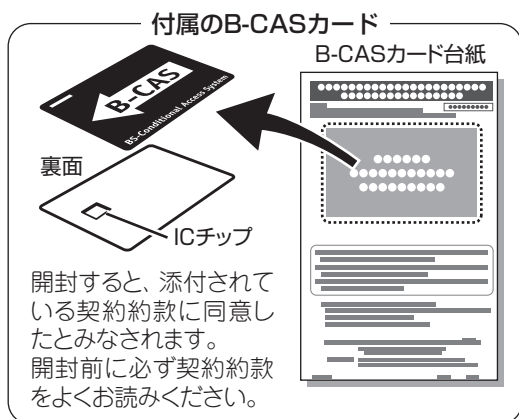
1 **壁または柱に、市販のヒートン(ひもがはずれない形状のもの)を取り付ける**

- 取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。

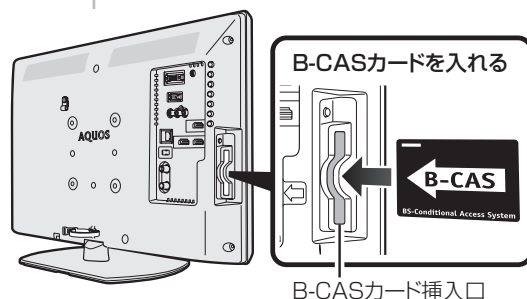
2 **クランプと、壁または柱に取り付けたヒートンの穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する**

▲本体天面

▼クランプ位置の例

◆ **重　要** ◆

- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。

7 B-CAS カードを挿入する

1 B-CASカード台紙の内容を読む

2 内容に同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む

- すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（⇒ **102** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。
- B-CAS カードを入れないと、デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）が映りません。
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されます。
- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。

B-CAS カードの抜き差しについて
- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 万一、B-CAS カードを抜く場合は、「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

B-CAS カードは大切に保管してください。
- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

B-CAS カードの取り扱いについて
- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ先

B-CAS カード　カスタマーセンター
電話　0570-000-250
（2013 年 2 月現在）

8 「かんたん初期設定」をする

- お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときや、引っ越しなどで設定をやり直すときは

- ホームメニューからかんたん初期設定を行ってください。

選びかたは、**27** ～ **28** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

1 電源を入れる

電源 を押す

電源コードのつなぎかた

- ⇒ **「かんたん !! ガイド」 9** ページ

電源の入れかた

- ⇒ **12** ページ

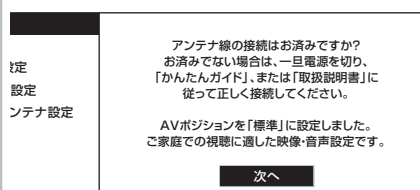
2 メッセージを確認して決定する

を押す

定
設定
ンテナ設定

アンテナ線の接続はお済みですか？
お済みでない場合は、一旦電源を切り、
「かんたんガイド」、または「取扱説明書」に
従って正しく接続してください。

AVポジションを「標準」に設定しました。
ご家庭での視聴に適した映像・音声設定です。

次へ

- 途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。

「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されたときは

- 電源を切り、⇒ **「かんたん !! ガイド」 11** ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

「リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。」と表示されたときは

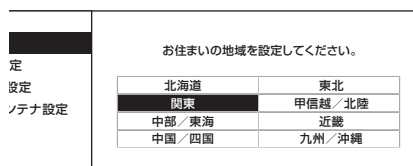
- 「リモコン番号設定」（⇒ **30** ページ）を行ってください。

3 ①お住まいの地域を選ぶ

で選び 決定 を押す

定
設定
ンテナ設定

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

◇**おしらせ**◇

- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

次のページに続く

4 郵便番号を入力する

1 ～ 10/0 で入力し 決定 を押す

- 「0」を入力するときは 10/0 を押します。

5 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

地上デジタル放送のチャンネル設定をしますか?
設定しない場合は、「しない」を選択してください。
現在の地域設定は ○○ です。
する しない

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- 手順 **6** の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

6 「する」または「しない」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、**次**ページの手順 **8** に進みます。

- 「する」を選んだときは、「BS/CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

手順6で「する」を選んだあと、次の画面が表示されたときは

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。
BS･CS
アンテナ電源 オート 入 切

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、**次**ページの手順 **8** の画面が表示されます。

7 受信状態を確認して決定する

決定 を押す

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- 「電源ボタン設定」(⇒ **30** ページ) を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンでいったん電源を切って UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

BS・CS アンテナを接続していないとき

- 「次へ」を選び決定ボタンを押してください。

BS・CS アンテナを接続しているとき

- 「電源ボタン設定」(⇒ **30** ページ) を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンでいったん電源を切って、BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。(⇒ **「かんたん !! ガイド」5** ～ **8** ページ) 電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや、移転などで BS･110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは

- ⇒ **「かんたん !! ガイド」5** ～ **8** ページ

アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（⇒ **「かんたん !! ガイド」 5 ～ 8** ページ）

8

で選び

を押す

設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

9

を押す

メッセージを確認して決定する

- これで設定は完了です。
- 映りかたを確かめましょう。
- 放送が受信できないときは⇒ **88** ～ **89** ページ

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたいときは

- 次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。（⇒ **80 ～ 81** ページ）

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。（⇒ **81** ページ）

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。（⇒ **82** ページ）

デジタル放送のチャンネルの個別設定

- デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。（⇒ **82 ～ 83** ページ）

地デジ難視対策衛星放送を視聴するための設定

- BS291ch ～ BS298ch は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴する場合は、スキップ設定（⇒ **83** ページ）で「BS デジタル」の「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。